

リユースとショーサン

白浜 真砂

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

FF14の二次創作、コント台本風小話です。BL要素がありますので御注意下さい。

思い付きで書いたものでヤマもオチも意味もありませんw

目次

マテリア依頼（禁断有）

1

空島に行こう

5

マテリア依頼（禁断有）

（FCハウス内、シヨースンがリテイナーベルの前に立っているとところでリユースンが入り口から入って来る）

リユースン：おー、シヨースンお疲れっすー！

シヨースン：ああ、リユースンちーっす！最近どうよ？

リユースン：いやー、最近やっとアニマ強化し終わってさー。

シヨースン：あー、ゴミ取れたんだ。良かったじゃん！

（リユースン、シヨースンに怒るのエモート）

リユースン：『ロンゴミアント』！ゴミって言うな!! やつとの思いで強化したアニマウエポンだつていうのに……。

（シヨースン、リユースンにだめめるのエモート）

シヨースン：まーまー。ちよつとしたお茶目な冗談なんだから、そう怒るなつて。

……そうだ！リユースン、木工のレベル上げてたよな？

リユースン：ああ、一応マイスターも取ってるぞ。それがどうかしたのか？

シヨースン：マジか！それじゃあちよつとアクセサリーにマテリア入れて欲しいんだ

けど、いいかな？

リユーサン：おっけー！じゃあ早速依頼してこいよ。……って、このカンファアークセ、全部ノーマルなのか？

シヨースン：ああ、マーケットで安く買えたんだ。いいだろ！これに意思クリのマテリアをガン積みするんだ！

（リユーサン、シヨースンに呆れるのエモート）

リユーサン：安く買えたって……そりゃあノーマルだからな。ていうかこんなのにガチでマテリア積んでももったいないだろ……！しょうがねえなー、俺がお前のアクセ作ってやるよ。

シヨースン：いいのか!?

リユーサン：ああいいよ。ただし材料はお前が揃えるんだぞ？

（シヨースン、頬を赤らめながら目を潤ませてリユーサンを見つめる。）

シヨースン：り……リユーサン……っ！……よし、お札に俺のヴァージンをお前にやろう。

リユーサン：いらねーよ、そんなもん！っ！か俺にそんな趣味はねえからな！

（シヨースン、リユーサンに大笑いするのエモート）

シヨースン：あっはっは……！何勘違いしてるんだよりユーサン！ヴァージンと言っ

ても、俺がお前に捧げるのは極セフィロトのヴァージンだ！

リユーサン：何だよそれ！……まさか、それって初見って意味じゃないよな？

シヨースン：石のボーナスも付いていてお得ですよ？予習はしませんけど。

リユーサン：寄生する気満々じゃねーか！

シヨースン：フツ……そうとも言うな。でも安心しろ！俺が今装備しているのはドラ

コノミコンのミラプリをしたワード・オブ・セフィロトだ！

リユーサン：初見どころがめっちゃめっちゃ通ってるじゃねーか！何なんだよお前!? やつ

とアニマが一段落したばかりの俺をバカにしてんのか？

シヨースン：……全く、そう怒るなよ。血圧上がるぞ？

(リユーサン、シヨースンに詰め寄るのエモート)

リユーサン：誰のせいで怒ってると思ってるんだよ?!

シヨースン：落ち着けて！今度リユーサンも極セフィロト行けばいいじゃん。俺も

付き合うからさ。

リユーサン：シヨースン……！

(シヨースン、真剣な顔でリユーサンの肩をガシツと掴む)

シヨースン：ただし……リユーサンのヴァージンを、俺が貰ってもいいのなら……だ

けどな。

リユースン……は？ちよ、待てて！それってセフィロト初見って意味だよな？やめてくれよ、マジで俺そういう趣味ねーからな!?

シヨースン……ふふふ、安心しろ！リユースンがヒーラーに見捨てられても蘇生くらいはしてやるから、せいぜい俺にバトルリタニーを付けてくれ。

リユースン……お前、今俺にさらっとひどい事言っただよな？

シヨースン……まあ俺はこれからアニメマの強化の続きで忙しくなると思うから、極セフィ付き合うのはもう少し先になるだろうけど。

（リユースン、シヨースンの手を振り払う）

リユースン……てめえ、マジで俺をおちよくってるだろ!?

シヨースン……ああ、おちよくってるさ。だけど……お前のヴァージンが欲しいのは、大真面目だからな。

リユースン……えっ？

空島に行こう

(リューサン、イシユガルドのマーケットでマーケットボードを見ながらため息をつく。)

リューサン：(……あれから何となくフリーカンパニーの家に行きづらくなったなあ。……まあ多分ショースンの事だから、あんな事を言っても俺をいじって遊んでいるだけなんだろうけど……。って、何で俺がショースンの事を意識してるんだよ!?)

(リューサンが考えるのエモートをしている後ろからショースンが近付いてつつくのエモート。)

ショースン：おー、リューサン久しぶりー!

リューサン：うおおあああつ!?!……しっ、ショースン!!

(リューサン、驚くのエモート)

ショースン：あつはははは……!リューサンすげえ驚いてる。面白えー!

(ショースン、リューサンに大笑いするのエモート)

ショースン：でも、最近どうしたんだ?FCの方にも全然顔出さないし、みんな心配してたぞ?!

リユースァン……ど、どうしたんだ？つて……。

シヨースァン……あー……もしかしてこの間の事、マジに取っっちゃった？

リユースァン……いやまあ……あんなマジな顔で言われたら、そりゃあ警戒するだろ……。

シヨースァン……まあ、それはともかくリユースァン、今ヒマ？

リユースァン……え？あ、ああ……一応。

シヨースァン……そつか！じゃあさ、これから二人でディアデム行かね？

リユースァン………何で？

シヨースァン……そう身構えるなつて！ちよつと空島で取れる素材が欲しくてさ。リユースァン、ギャザクラ結構やり込んでるだろ？なあ、頼むよ！もうリユースァンの事、変にいじつたりしないからさ。

リユースァン………しようがないなー。

シヨースァン……やったー！リユースァンサンキューー！

(シヨースァン、リユースァンにハグのエモート)

リユースァン………っ！し、し……シヨースァンっ!?

シヨースァン……ん？どうしたリユースァン。顔真つ赤だぞ？

リユースァン……な……っ、何でもねえよ！っーか何で抱きついてくるんだよ!?

シヨースァン……H A H A H A！同性でもハグくらい欧米では普通だろ？それとも……も

しかしてリューサン、俺を意識しちやったりしてる？

リューサン：んな訳ねーだろ！

シヨースン：そつか……………そうだよな。それじゃあパーティー申請しておくから受けておいてくれな。俺あ先にFCの家に戻って飛空艇確保してくるわ。

リューサン：お、おう……………。

(シヨースン、テレポで退場)

リューサン……………つたく、あれからシヨースンと居ると調子狂うんだよなあ……………。いつもより俺を多少いじりすぎただけなのに、何意識してるんだろうな、俺は。……………これじゃあまるで……………。)

(シヨースン、テレポでFCハウスの前に到着)

シヨースン……………やっぱ引いてたよな、リューサン。まあ俺が悪いんだけど……………。悪ノリし過ぎたって思ってくれてるみたいだけど、少し自重しないと……………あいつに嫌われるのは嫌だからなあ……………。)